



特集：日本初のLRTは？

▶ 富山ライトレール、ただいま建設中



日本初のLRTは、現在建設中です。JR西日本の富山港線を改修して作られます。

2014年頃の完成を目指して建設が進めている北陸新幹線は、現在の富山駅を通ります。

しかし、街のど真ん中で用地はありません。そこで、在来線の高架化で新幹線のスペースを生み出すことになったのです。

富山港線単独では赤字。高架化してもJRのままでは多額の税金を投入しても、便利にならない心配がありました。

そこでJRから分離、富山市が中心になって新たな運営会社「富山ライトレール」を発足しました。

JRのままでは将来見込まれる赤字相当を寄付金として頂き、さらに高架化を諦める保証金を元手に、LRTとして生まれ変わることになりました。

- JR富山港線を路面電車として道路経由で富山駅へ乗り入れ。
- 跡地を新たな在来線・北陸本線の駅へ、いままでの北陸線の駅を北陸新幹線の駅として使うことになりました。
- 今年夏頃から道路部分の工事を進めており、JR富山港線は来年2月末で全て運休止、約2ヶ月間で改修を行います。
- 地下鉄では平均2～3年間の工事期間が必要ですが、路面電車では長くても数ヶ月、短ければ一晩で出来上がります。

● この富山港線ではLRT化で便利になります。

- 運行間隔 30～60分 → 15分
- 終電 21時台 → 23時台
- 駅数 9駅 → 13駅 (富山駅除く)

全てMOMOベースの車両、2車体型・7編成導入し、段差無く乗り降りできます。

運賃の支払いでは、日本で初めて信用乗車方式と呼ばれるセルフサービスを導入することを目指しています。

欧米のLRTではほぼ100%導入されており、一番LRTで特徴的なシステムです。それぞれのお客様が事前に切符を購入して管理する。専門の係員がたまにチェックを行います。運転士が運賃のチェックを行わないので、スピードアップや安全運転に専念出来るメリットがあります。

来年4月29日、日本で初めてのLRT(ライトレールシステム)「富山ライトレール」が走り始めます。(写真・文 藤井正史)



9/23 玉野市電廃線跡ウォーク



▲コトデンに渡ったモハ103号



● 以前 玉野に市営電鉄が走っていたことを皆さんはご存知でしょうか？この鉄道は昭和28年～47年まで、宇野～玉遊園地前（奥玉）間の約4.7kmを運行していた。当時の計画では水島までの延長もあったが実現することなく廃止となりました。いまではこの線路跡を自転車道として整備しており、朝夕などはJR宇野駅へ向かう会社員や学生によく利用されています。この度、玉野市電保存会の主催でこの自転車道を当時の電車をよく知る方と歩く『玉野市電廃線跡ウォーク』が9月23日に開催されました。今回はこの時の様子について報告します。

● 参加者はJR宇野駅に集合し、市電の起点となる『宇野』停留所を見た後、しばらく北へ歩き次の停留所となる『広瀧』へ。ここから先は自転車道として整備されていて、続いて『玉野高校前』となります。『玉野高校前』～『西小浦』間には『天狗山トンネル』という市電では一番長いトンネルがあります。このトンネルを抜けるとすぐに『西小浦』停留所。いまではベンチがある休憩スペースとなっています。

● つぎの『玉野市役所前』は国道430号を南に渡ったところにあります。文字通り市役所がすぐ横にあったのですが、現在の市役所は300m東に移転し、当時の市役所があった場所には玉野市民病院が建っています。『玉野市役所前』～『藤井海岸』の間には電車が行き違うための『古塩浜』信号所があり、タブレットと呼ばれる通行票のようなものを運転士が交換していたと解説をされていました。さらにこの先には『中山トンネル』があり、『藤井海岸』へと着きます。

● ここから先『玉野保健所前』、『大聖寺前』とかけて住宅地の中を走るようになります。途中、線路敷きを通らないと入れないアパートや、『玉野保健所前』停留所につながっていたと思われる途切れた階段を持つアパートなど、当時ならではの面白い建物が今でも残っています。『大聖寺前』からは白砂川沿いに歩いていきます。『三井造船所前』は造船所の北端に位置しています。つぎは『玉』停留所、玉商店街があり以前の玉野市は玉地区のほうが賑わっていたそうです。この場所は今でも駅跡がイベント広場として活用されています。さらに白砂川に沿って走るのですが、用地が無いために川の中に橋脚を立てて線路を敷いています。このため「川の中を走る鉄道」とも言われたそうです。

● 国道430号を南に渡ったところに『玉比咩（たまひめ）神社前』停留所。そして終点『玉遊園地前』停留所へとたどり着きます。このあと参加者はすこやかセンターからシーバスに乗って宇野駅まで帰りました。余談ですが、玉野市電で使われていた電車3両は琴電に移り、いまでも760号として運行しています。この電車を玉野へ里帰りさせるプロジェクトが玉野市電保存会によって計画されています。内容を知りたい方は玉野市電保存会のホームページをご覧ください。
● 玉野市電保存会HP
「<http://homepage2.nifty.com/tamanosiden/>」

今月の☆☆☆ できるバス・消えるバス

<両備バス>
◇小豆島行きフェリーダイヤ改正による、新岡山港線のダイヤ改正
◇旭川荘線のダイヤ修正

○バスマップ販売場所 RACDAバスマップは以下の場所でお買い求めいただけます。
・岡山駅前バス案内所 ・丸善岡山シンフォニービル店 ・紀伊国屋書店
・精文堂書店（天地下タウン） ・岡山県庁書籍販売店 ・岡山市役所地下売店
・写真機修理工房 川原（庄新町） ・岡山市市民病院売店 ・天満屋バスステーションチケットセンター
・禁酒会館食堂 ・京橋朝市RACDAブース

◇バスマップを販売していただける販売店様を募集しております。
お問い合わせなど、詳しくは TEL 086-232-5502 RACDA事務局までご連絡ください。

◇11月5・6日に『第3回全国バスマップサミット in 松江』が開催されます。
詳しくはRACDA事務局HP・事務局だよりをご覧ください。